

水俣病情報センターに VRコーナーが新設されました!

水俣病情報センターの1階バースビュー・スペース内に、ドローンにより上空から撮影した360°動画を、VRゴーグルを使ってまるで空を飛んでいるような視点で見ることができるVRコーナーを新設しました。是非来館して体感されてみてはいかがでしょうか。



国水研の動き

令和5年2月
～令和5年7月

- 2/8 早稲田大学
Global Leadership Fellows Program
受入れ
- 2/22 一般社団法人海外環境協力センター
研修受入れ
- 4/7 国保水俣市立総合医療センター
新入職員研修受入れ
- 4/24 公害等調整委員会視察受入れ
- 5/1 令和5年度水俣病犠牲者慰霊式
- 6/27 水俣環境アカデミア
さくらサイエンスプラン水俣研修受入れ
- 7/5 長崎大学大学院国際健康開発コース
博士課程短期フィールド研修受入れ
- 7/22 一般公開(オープンラボ)

国立水俣病総合研究センター (NIMD)のロゴマークについて

「水」の字をもとに、水俣の川と海をイメージし、また左側は「大人」、右側は「胎児」と水俣病で犠牲になった方々をも表しています。環境汚染による被害が二度と発生しないよう思いを込めて、「本来あるべき美しい自然の色」である水色や緑色で表現しました。



NIMD National Institute for Minamata Disease

国水研への アクセス



- みなくるバス
青バス湯の見線 とんとん峠下車 700m(徒歩約12分)
- JR 新水俣駅から5.5km
- 肥薩おれんじ鉄道 水俣駅から4.6km

facebookでも
情報発信して
います!



NIMD PLUS +YOU

環境省 国立水俣病総合研究センター 広報誌 ニムド プラス ユー

研究室の紹介

- 臨床部
総合臨床室
- 臨床部
リハビリテーション室

トピックス

- 水俣条約事務局長が
来水
- 令和5年度水俣病
犠牲者慰霊式
- 水俣競り舟大会
一般公開(オープンラボ)を
4年ぶりに開催

No.
55

令和5年(2023年)10月発行

<http://nimd.env.go.jp>



はじめに

「NIMD+YOU」を手にとっていただきありがとうございます。

「NIMD+YOU」は、環境省国立水俣病総合研究センターの日々の活動や研究成果を、できるだけ分かりやすくお伝えすることを目的に平成26年に創刊しました。

今号では、異動及び再任用により新たに当センターに着任した齋藤次長、三宅室長、小林係員、森本係員の紹介をします。

そして、臨床部の総合臨床室とリハビリテーション室の日々の取組や成果についても紹介します。

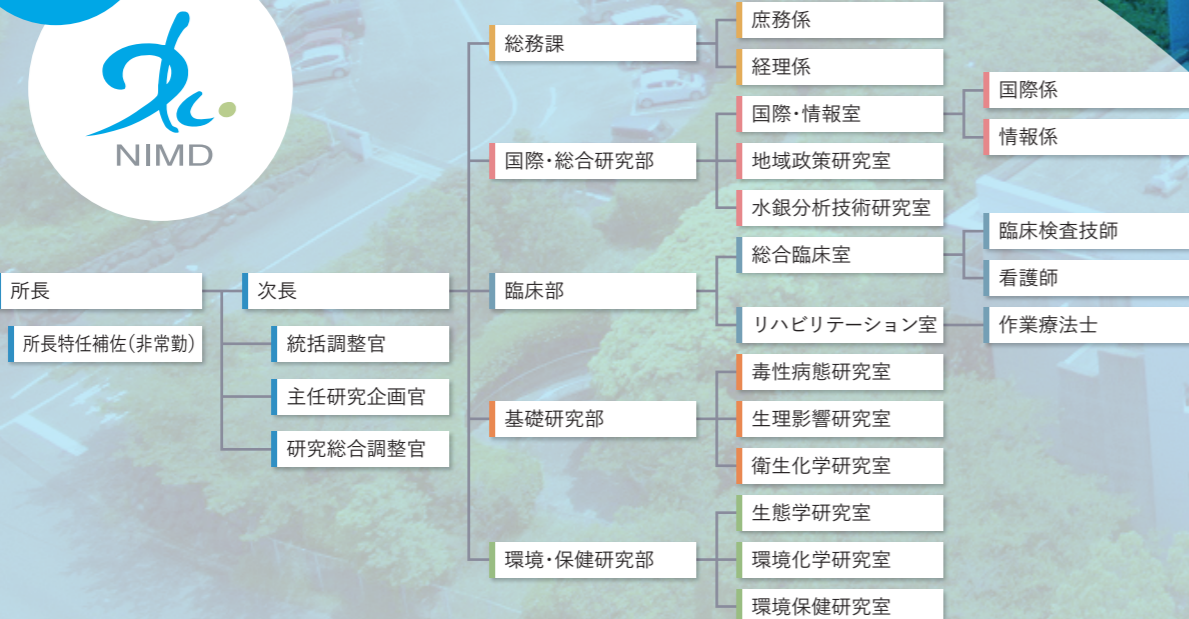
また、NIMDトピックスでは、令和5年7月に4年ぶりに開催した一般公開の様子について掲載しています。

今後も皆様のご意見などをお伺いしながら内容を充実させ、情報発信を行っていききたいと思います。

引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。



組織体制



新入職員紹介

次長 齋藤 真知



7月1日付で、国立水俣病総合研究センター次長を拝命しました。前職は本省自然環境局総務課でした。平成3年の入省でかれこれ30年以上勤務しておりますが、国立水俣病総合研究センターでの勤務は初めての経験となります。水俣病の解決は、環境省(庁)設置当時から続く大きな課題であり、国立水俣病総合研究センターは、水俣病が我が国の公害の原点であること、及びその複雑な歴史的背景と社会的重要性を考え合わせ、水俣病に関する研究の推進に役立つように、総合的医学研究を実施し、水俣病患者の医療の向上を図ることを目的として、昭和53(1978)年10月に水俣市に設置されて以降、研究機

能や組織の拡充を行ってきました。今後とも、国水研の長期目標である「我が国の公害の原点といえる水俣病とその原因となったメチル水銀に関する総合的な調査・研究、情報の収集整理、研究成果や情報の提供を行い、国内外の公害の再発を防止し、被害地域の福祉に貢献すること」に向かって国水研の研究や業務が進展していくように職責を果たしていくとともに、少しでも開かれた国水研として地域への貢献を進め、更には世界の水銀汚染防止に向けた国際貢献など新しい役割についても果たしていきたいと考えています。よろしく願いいたします。出身は東北の福島県です。趣味は山登りや園芸などを好んでいます。これまでなかなか訪れる機会がなかった九州の山や温泉を巡り、また、海釣りにもチャレンジしてみたいと思います。これから自然豊かな水俣での生活も充実させていきたいと思っています。



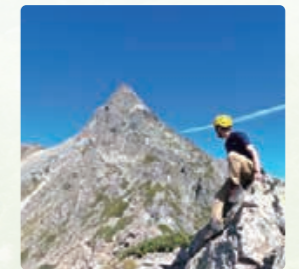
国際・総合研究部
国際・情報室
室長 三宅 俊一

約3年ぶりに水俣に戻ってきました。変わらない空気感に癒されています。今回は水俣病情報センター配属となり、一般の方や多くの子供たちと直接接する機会が増え、新たな気持ちで勤務しています。海に面し緑に囲まれたここ「まなびの丘」は、多くの生き物が息づく自然豊かなところです。最近では、カニさんが2度ほど玄関から入館されましたが、丁重にお引き取りいただきました。スタッフと協力し、気軽に楽しく学んでもらえる施設づくりに努めてまいります。犬が好きです。



国際・総合研究部
国際・情報室
国際係員 小林 三希子

5月に国際・情報室に着任いたしました小林三希子です。氷河期採用のため、年齢はありますが入省2年目の係員であり、皆様から様々なご指導を頂き日々感謝で過ごしております。水俣の海は本当に美しく、情報センターからの景色に癒されています。趣味はバックパッカー的旅行、自転車、トレッキング、神社・博物館・遺跡めぐりなど。ゲーム性を見出せば何にでも食いつきます。最近では日・印・中などの昔聴いていた音楽をまた聴いています。どうぞよろしくお願いいたします。



総務課
経理係員 森本 涼太

5月に総務課経理係に着任いたしました森本と申します。国水研では経理係員として会計関係の事務に携わっております。入省して3年目の職員であり、今回初めて本省以外での勤務となります。山に登ることが好きな一方で、本省の間はほとんど登山ができなかったため、この機会にプライベートでは水俣市の自然を満喫しようと考えております。職員としてまだまだ未熟ですが、自身の職務を全うすべく尽力して参ります。



国水研の研究室

N I M D L a b o r a t o r y



准看護師
松永 美和

看護師
佐藤 ゆかり

研究補助
田畑 暢子

研究補助
山下 友子

主任検査技師
三浦 陽子

臨床部長 兼
総合臨床室長
中村 政明

看護師
板谷 美奈

臨床部 総合臨床室

研究室の取り組み・目的

総合臨床室では、水俣病の病態を明らかにする目的で、メチル水銀中毒の客観的評価法の開発を目指しています。また、水俣病患者さんの日常生活動作が低下する大きな一因になってきた神経障害性疼痛(神経系の障害のために長期間持続する痛み)に対する磁気刺激治療の研究を行っています。さらに、水俣病被害地域の福祉の充実を図るため、地域の介護予防活動を支援しています。

研究内容

メチル水銀中毒の客観的評価と治療に関する研究

総合臨床室では、水俣病患者さんや水俣病被害地域にお住いでない高齢者を対象に脳磁計・MRI検査を実施し、メチル水銀中毒の客観的評価法の開発を目指しています。脳磁計は脳が活動している時に頭から出る磁気を計測する装置で、脳の活動状況を調べることができます。また、「水俣病の治療向上に関する検討班」を設置し、これまで改善が困難であった水俣病の症状の一つである神経障害性疼痛に対する磁気刺激治療の研究を行っています。



脳磁計検査風景



MRI検査風景

地域の福祉向上に貢献する業務



手工芸教室

水俣市社会福祉協議会が実施している「地域リビング」の支援として手工芸教室、出水市社会福祉協議会が実施している「ふれあいいきいきサロン」の支援として手工芸教室及び楽しい健康体操教室、津奈木町社会福祉協議会が実施している「いってみゆう会」の支援として手工芸教室を開催しています。さらに、令和5年度より水俣市の健康寿命促進のための事業を開始しました。



看護師
山下 てるみ

研究補助
吉原 恭子

作業療法士
中村 篤

臨床部長 兼
リハビリテーション
室長
中村 政明

臨床部 リハビリテーション室

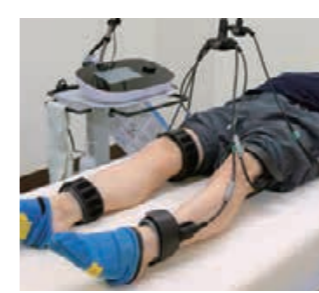
研究室の取り組み・目的

リハビリテーション室では、胎児性・小児性を中心とした水俣病患者さんを対象に、送迎による外来リハビリテーションを実施しています。利用される方からは、『今の歩行状態をなるべく維持したい』や『最近むせるようになってきた』といった声が多く聞かれます。そのため、主に歩行障害や嚥下障害に焦点を当てた治療を展開しています。

研究内容

外来リハビリテーション

痛みや筋緊張の緩和、また、筋力低下・筋萎縮・関節拘縮などの予防を目的として、最新の機器を使った治療を展開しています。車椅子利用者の方でも利用でき運動の代用が期待できるベルト電極式骨格筋電気刺激法や食事等でむせや飲み込みにくさを感じる方に効果が期待できる複合低周波治療器など、ご好評を頂いています。



ベルト電極式骨格筋電気刺激法による治療の様子



複合低周波治療器による治療の様子

リハビリテーション技術及び介助技術に関する講習会の開催

水俣病発生地域の医療の一翼を担い、リハビリテーション技術や介助技術を地域に普及させるために、第一線で活躍している講師を招き、講習会を年に2回開催しています。講習会はいずれも無料で、当センターホームページにて開催のお知らせをいたします。ぜひチェックしてみてください。



講習会

NIMDトピックス その1

水俣条約事務局長が来水

水俣条約事務局長のモニカ・スタンキエヴィッチ氏が8月30日に水俣市を訪れ、国立水俣病総合研究センターにて研究内容や設備をご紹介したほか、水俣病情報センターでは館内を視察されました。また、初の来水であったことから、屋上から広がる美しい水俣の風景をご覧いただいています。視察の際、当センターにおける研究は、水俣条約の実施に向け非常に価値のあるものと考えているとのコメントを頂戴し、職員一同さらに研究や国際貢献活動などに邁進していくべく決意を新たにしました。

写真左：モニカ・スタンキエヴィッチ氏（中央）、水俣条約事務局職員、当センター職員
写真右上：リハビリテーション機器を体験／写真右下：当センターの研究概要を説明



NIMDトピックス その2

令和5年度水俣病犠牲者慰霊式

水俣病の公式確認日である5月1日、水俣病犠牲者慰霊式が4年ぶりに通常開催され、西村環境大臣が出席したほか、水俣病語り部の会及び水俣病関係団体との懇談、記者会見を行いました。

水俣病語り部の会との懇談 ▶



NIMDトピックス その3

水俣競り舟大会

去る8月6日に水俣競り舟大会が開催され、「チーム国水研」一同、チームワークを発揮して全力で櫂を漕ぎ、水俣の夏を盛り上げました！



全てを出し切った選手たちの爽やかな笑顔



頑張れー!!



NIMD TOPICS

2023 March - September



-200°Cが作り出す不思議な世界



ものづくりで楽しく脳トレ♪

NIMDトピックス その4

一般公開（オープンラボ）を4年ぶりに開催

4年ぶりとなる国立水俣病総合研究センターの一般公開（オープンラボ）を7月22日に開催いたしました。猛暑の中、水俣市や周辺の市町村から375名の方々にお越しいただき、誠にありがとうございました。子供向けの楽しく科学を学べる体験型の企画やリハビリ体験、地球環境問題に関する企画、国水研の研究紹介など、子供から大人まで楽しんでいただける企画を準備し、ご来場者の皆様にも多くの企画でお楽しみいただけたものと思います。一般公開は毎年この時期に行っていますので、是非お誘いあわせの上、一度お越しいただければ幸いです。



手作りコスメ



たくさんの方々にお越しいただきました